

第 612 回 新潟放送番組審議会 議事録

— 議題 —

テレビ番組

「BSN水曜見ナイト 新潟・農家ごちそうレストラン」



平成 27 年 11 月 25 日

BSN新潟放送

第612回新潟放送番組審議会

1. 開催日時 平成27年11月25日(水) 午前11:00～

2. 開催場所 新潟放送 本社6F

3. 委員の出席

○委員側出席者(敬称略・順不同)

委員長	松川公敏	副委員長	相羽利子
委員	古賀豊	委員	小島良子
委員	高井盛雄	委員	佐藤元
委員	佐々木広介	委員	細田康

○委員側欠席者

委員	正道かほる	委員	佐藤明
----	-------	----	-----

○放送事業者側出席者

社長	竹石松次	専務	梅津雅之
営業局長	斎藤和利	編成局長	島田好久
報制局長	太田志信	ラジオ本部長	高坂元己

<説明員> 報道制作局情報センター

ディレクター 内藤亜沙美

事務局

事務局長	増山由美子(広報部長)
事務局員	丹羽崇(社長室長)

4. 議題

1 報告事項

・12月の新番組・単発番組について(各局長)

2 審議番組

テレビ番組

「BSN水曜見ナイト 新潟・農家ごちそうレストラン」

放送日時 テレビ 2015年11月18日(水) 午後 7:00～7:53

5. 議事の概要

はじめに、各局長からの12月度番組報告に続いて、「BSN水曜見ナイト 新潟・農家ごちそうレストラン」について審議が行われた。

～番組審議委員の主な意見・質問～

- 最近の水曜見ナイトをなかなか見ることができなかった。今回は単なるグルメ番組ではなくて、若い方が頑張っている姿が印象に残った。こうした方々を取り上げることは良い事。新米「新之助」は色々な番組で食べているが、育種担当者が出演して、開発話を取り上げることは良い。別の番組でも掘り下げて紹介してほしい。酪農は農業の六次産業化という点で良い取り組み。農業特区という、ニイガタの農業のこれからが見えてくる感じ。作り手の思いが直接、伝わる内容。食育にもつながる。日曜市の紹介も良かった。イタリアの部分が今回の極め付けだが、全体を通じて地元農家の自信と確信がにじみ出ている、新潟の農家が考えさせられる内容だった。足元を大切にしたい動きは印象に残った。
- 今回のタイトルから、レストラン情報の特集かと思った。番組前半はタイトル通りの内容で、過不足なく情報を伝えていたが、後半は自然栽培からイタリアの話題など、別の番組のような内容だった。水曜見ナイトは当初、特集の内容を柱に据えて、それに基づいて放送の内容が決まっていたはず。今回は情報をモザイク的に伝える形にも思える。特集中心なのか、情報中心なのか、その中間のようで、見る側がついていけないかとも思った。また、取材先の連絡先として携帯電話番号を紹介していたが、視聴者からの問い合わせに対応できるのか心配した。
- 見ナイトは番組審議会でも何度も取り上げているが、そのたびに、この番組をどうとらえるか議論になる。ワイドショー的で情報を盛り込んでいるが、BSNのまじめな体質も組み合わせている。今回は最初のうち、色々なところを紹介してバラエティらしかったが、後半のイタリアの部分はキー局のドキュメンタリー番組のようで、飽きさせなかった。新潟にこういう人がいると紹介する番組は価値がある。街角も食べ歩きも良いが、こういう動きを掘り下げることが良いと思う。自然農法に取り組む人たちが農業界の中で孤立しないよう、連帯する意味でも大変意味のあることだと思う。「新之助」を食べた時のアナウンサーのリアクションが上げすぎず、美味しさが伝わって、BSNらしく非常に好感が持てた。また、ニンジンをかむ音も新鮮さが伝わった。
- 水曜見ナイトは情報バラエティ番組であり、平日のゴールデンタイムの番組であり、なにより生放送というのが一つのポイントだと思う。今回は全体を通して見た場合、生放送する必要があったのか？牧場の中継は臨場感があったが、残念ながら雨が降っていて、良さが伝わりづらいと思った。とはいえ、水曜の夜7時は家族が食卓を囲み、一番リラックスして見る時間帯で、視聴率も期待される。今回はグルメの情報も盛り

込まれていて、農業の六次化や農家レストランなどを丁寧に説明して、分かりやすく紹介していて、バランスの良い内容で構成されていた。新潟の元気を伝えたい、新潟を元気にしたいという番組のコンセプトは伝えられたと思う。

- 大きく分けて5つのコーナーで構成されていたが、後半のイタリアの印象が強かった。この話題一本で番組を作ったら良かったのではないかと思ったが、今後、別の番組でも紹介するという事なので納得できた。見ていて、構成的には牧場の部分で一気に集中力が抜けた。使い古された話題がまた出てきたと思った。無農薬の自然栽培は難しいと思う。害虫の問題もあって、絶対善のように捉えてよいのか改めて考えさせられた。
- 今回、番組の前半はいつもの水曜見ナイトだったが、後半部分にすごく興味が持てた。自然栽培、有機栽培はママ世代には良い話題だと思う。日曜市の部分に、字幕スーパーで紹介された団体について、日曜日とのつながりがよく分からなかったが、登場人物の自然栽培に対する愛、そして夫婦愛も感じて、全体的にととてもよくまとまっていた。
- 今まで見逃していたが、番組冒頭で、音楽に乗せて世界～新潟の地図、そして伊勢さん登場という流れは、この番組が何かを発信しようとしている狙いが感じられて、すごく良かった。今回は特にイタリアの内容が非常に良かった。私達新潟県人が素晴らしい農産物を作っていることを番組を通じて自覚した。また、大きいシイタケを紹介する時の音など、1つ1つのBGMがすばらしかった。
- タイトル名と番組内容の整合性に疑問を感じた。タイトルを見ると、水曜見ナイトのいつものグルメ志向と感じたが、今回はキッチンとした筋立てがある内容だった。とはいえ、一時間番組となると、どうしても色々な情報を入れすぎる傾向にあるのも事実。前半は農業情報の提供、後半は特集だったが、後半のイセस्पを入れる必要があったのか？仮に来春にも農家の動きを紹介する番組を放送するとなると、今回の番組内容とダブるのではないかとむしろ、もう少し1つ1つの話題を丁寧に紹介すれば内容の濃い番組作りができるのではないかと。また、番組に生出演したシニアソムリエの存在意義があまり感じられなかった。情報番組である水曜見ナイトに硬派な内容を入れることの難しさを感じたが、こうした番組が新潟の農業を全国に展開する1つのきっかけになってほしい。

～報道制作局情報センター・内藤亜沙美ディレクターから～

今回は貴重なご意見をありがとうございました。

- 水曜見ナイトは主に新潟の飲食店を取り上げたりと、グルメ番組というイメージだが、

その食を支える「農業」が大事と気づき始め、3年前から番組で取り上げ、特集も放送している。水曜見ナイトはゴールデンタイムに家族で見る情報バラエティ番組だが、今回、紹介したイタリアへはドキュメンタリー番組制作のため取材に出かけた。しかし、色々なところを取材して、全部の素材を番組で紹介しきれないことが予想されたため、見ナイトでも紹介した。イタリアの有機栽培の良い部分だけでなく、イタリアでも苦労している点を伝えたいと思った。タイトルの付け方はすごく悩んだ。新潟全体が大地のごちそうを提供するレストランというイメージでこのタイトルを使っているが、貴重なご意見として受け止めたい。また、取材先の携帯電話番号は、紹介しても良いかどうか必ず確認した上で出している。今は固定電話を置かずに、個人とお店の携帯を分けて使っているケースが多い。また、宣伝になるので、ぜひ出してほしいと言われることも。前半が情報、後半が伊勢スペという構成は毎回、悩むところ。情報だけでは番組があきられてしまう。伊勢スペは新潟の人を紹介する特別枠だが、農業がテーマの場合でも長く紹介したい場合、伊勢スペで掘り下げる。生放送の必要性については、スタジオのフリートークをなるべく展開すると生放送らしくなると思うが、それぞれのディレクターが伝えたいことが多くなり、つい予定より長いVTRを作ってしまう、スタジオ部分が削られてしまう。また、冬場は早い時間に暗くなり、外の中継がなかなかできないが、これからは夜でも生放送らしい話題を探して外の中継を積極的に行いたい。日曜市の紹介部分に団体の名称の字幕が入ったのはNPOの拠点であることを示すものだったが、確かに分かりづらかった。今回、紹介した自然栽培の農家はほかの農家を引っ張り、新たに技術開発を行うなど連携が素晴らしいので、一生懸命に動きを追いかけたい。番組冒頭のVTRに目を向けて頂き、嬉しかった。地球から日本、新潟という流れは世界の中の新潟、そして新潟から発信したいという思いを込めている。次に制作するドキュメンタリー番組にもいえることだが、ある農法だけが良いという主張にしないよう気をつける。多様性が新潟の良さだという点も出したい。新潟の農業がさらに良くなるようにこれからも番組を作っていきたい。

【文責・番組審議会事務局】